

2015年2月号(第62号)

発行／企画 社協・編集会議

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所：〒244-0003 戸塚区戸塚町167-25
T E L：045-866-8434
F A X：045-862-5890
E-mail：info@totsukashakyo.com

社協とつか

東日本大震災被災地復興支援事業

満員御礼

「とつかボランティアバス」実施しました！



参加者は募集開始後、即定員に達しました。

とつかボランティアバス参加者集合写真

平成26年11月21日(金)～23日(日)岩手県釜石市に31名のボランティアと事務局4名の合計35名で行って来ました。活動内容は、仮設住宅で避難生活を送られている方々に憩いのひと時を提供するため、一緒に鮭のちゃんちゃん焼き、鮭汁、おにぎりを作って食べました。食後には戸塚から運んだガーデンシクラメン、ピオラ、アリッサムを仮設住宅等に飾ってもらうため、一緒にプランターに植えました。お天気にも恵まれ、2カ所で延べ100名を超える方々が親睦を深めることができました。

参加者からは「現地の方と交流ができてとても貴重な経験になった」、「自分の目で被災地の現状を見ることが大切だ」、「釜石が大好きになりました」などの感想が聞かれました。

また、現地の方たちからは「とても楽しく1日を過ごすことができました」、「遠いところありがとうございました。またぜひ遊びに来てください」の他、「戸塚区の皆さんも、釜石の教訓と経験を参考にして、防災体制を築いてください」というメッセージもいただきました。

翌日は釜石市社会福祉協議会前事務局長の矢浦一衛氏にガイドをお願いし、津波の映像を見た後、現地に行き復興の現状を視察しました。多くの犠牲者が出た^{うのすまい}鶴住居地区の防災センター跡地に立つ追悼施設をお参りし、涙を流された参加者もいらっしゃいました。

「震災を風化させたくない」「被災地を忘れてほしくない」という現地の方たちの強い願いが心に響きました。参加者の皆さんは、帰りのバスの中で「戸塚に戻ってから一人でも多くの人に自分が感じたことや被災地の現状を伝えることが大切だ」と感想を話していました。



釜石市社会福祉協議会
前事務局長 矢浦一衛氏



プランターにお花を植えました



この事業は赤い羽根共同募金「たすけあい福祉資金」の配分を受けて実施しました。

地域の活動紹介コーナー

つながる・学び合う・舞岡で暮らす…それが“舞クラス”

舞岡中学校区・日限山中学校区（2中学校・5小学校）の個別支援級に通う児童・生徒の保護者を対象に、平成26年度より活動をスタートしました。

5月「地域で暮らすことについて（写真上）」、7月「先輩ママのお話」の2講演に続き、9月「まちものがたり～知的な障がいがある仲間たちの暮らし～」(戸塚区社協制作DVD)の上映会（写真下）、10月「社会福祉法人開く会・共働舎の施設及びグループホームの見学会」を行いました。

上映会には地域の方々へも呼びかけ、多数のご参加を頂きました。今までに、参加された保護者の方々からは“もっと沢山のひととつながり、進学や就労についての知識やアドバイスを共有したり、職場見学などが出来たらいいな”という声が届いています。

今年度最後の活動は、“東戸塚地域活動ホームひかり”の施設見学を予定しています。“舞クラス”が“ホッとできる場所”になることを願い、活動しています。

舞岡地区社会福祉協議会 子育て支援部



東戸塚みんなの居場所 お茶の間♥^{がっ こう}楽交がオープンしました

コーヒーを飲んだり、手作りパンやお菓子を食べたり、小箱ショップの手作り品、ギャラリーも楽しめます。また地域にお住まいの方を講師に招き様々なイベント・講座を開催しています。これまで地域で色々な活動をしていた人達が、ずっとこんな所があったらいいねと思っていた事を7月21日によやく形に出来ました。

人と人とのつながりを広げるきっかけ作りのために、年齢・立場に関係なく誰もがくつろげ、普段の生活では出会うことのない人・もの・ことに出会え、それぞれが持っている力(特技・知識・情報・時間・労力・ネットワーク等)を活かせる場所を提供しています。

ここでの新しい出会いや体験をきっかけに、まちで顔見知りが増え、挨拶したり、声を掛け合う機会が増え、まち中がみんなの居場所となることを目指しています。

●場 所 JR東戸塚駅 東口から徒歩3分 住所：品濃町514-6 ボヌール東戸塚 2F 203号 電話080-6766-5241

●ブログ <http://blog.livedoor.jp/ochanoma203/> (東戸塚みんなの居場所お茶の間♥楽交)

戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚開所15周年記念

「フレンズ戸塚まつり」を開催しました！

平成26年11月30日(日)、日頃区内で福祉保健活動をされている団体やボランティアさん、地元の方たちによる手作りのお祭りが盛大に開催されました。

ステージでの発表や演奏、模擬店販売、ゲームコーナー、被災地物産販売などのブースにもたくさんの方が集まり、楽しい1日となりました。「トリ」は戸塚密着アーチストkaho*によるスペシャルライブ。戸塚にちなんだ曲の演奏で大いに盛り上がりしました。

また、被災地復興のために1杯100円以上の寄付を呼びかけた「つみれ汁」の募金と被災地物産販売の売り上げの一部は、岩手県釜石市社会福祉協議会に寄付しました。

前日の29日(土)には「ボランティア・フォーラム・とつか」が開催され、フレンズ戸塚のこれまでを振り返ったシンポジウムやこれからの戸塚のまちの未来図を描いたグループディスカッション、交流会等が賑やかに行われました。



障がい福祉分科会

障害者週間シンポジウムを開催しました。

全国であらゆる取り組みがなされる、障害者週間(12月3日～9日)に合わせ、障がい福祉分科会では12月10日、障がい者への理解を広げていくことを目的にシンポジウム『とつかで暮らす ～知ってもらいたい わたしたちの生活～』を開催しました。当日は、戸塚に暮らす身体に障がいがある方の生活を追った映像「まちものがたり2」の上映、障がいのある方や支援者からの発表を行いました。他の誰もと同じように、良い日も悪い日もありながら暮らしている、そんな様子が伝わってくるシンポジウムとなりました。参加者からは「障がいのある方の生活の様子や本音がいろいろ聞けて良かった」といった感想が出ました。障がい福祉分科会では、今後もこのような取り組みを続けていきます。

参加者総勢121名



戸塚区集合住宅団地つながる連絡会が発足しました！

少子高齢化が急激に進んでいる近年、戸建住宅や集合住宅団地にかかわらず、様々な生活課題が発生しています。そんな生活の困りごとを乗り切るために、集合住宅団地という住宅形態の利点を生かした解決方法を一緒に考えていく連絡会が発足しました。

集合住宅団地に適した「見守り・助けあい・支えあい」の取組みを考えながら、住民活動の活性化と誰もが住みやすい生活環境を目指し、今後も継続して開催します。

第1回 10月30日開催 出席者数56名
2月に第2回を開催予定です。

参加者の声

- ・参加者の多さに驚きました。
- ・エレベーターの無い住宅では高齢者が外出できない
- ・空き部屋が目立つ
- ・住民の高齢化により災害時の支援や担い手不足等が関心事
- ・今回はドアを叩いた状態で次回以降を楽しみにしています

など



『送迎サービス事業』の紹介

送迎サービス事業とは

区内在住の高齢者、難病がある方や障がい者が、公共交通機関(バス、電車、タクシー)の利用や家族等による移送が困難な場合に、戸塚区社会福祉協議会の車両でボランティアの運転により外出のお手伝いをする事業です。利用する場合には事前に登録が必要になります。また付添者の手配や利用目的、利用範囲等条件がありますので、ご希望される方は担当までお問い合わせください。

なお、利用料につきましては平成27年4月より下記のとおり改定しますのでご確認ください。

◆利用料の改定について

平成27年4月1日より送迎サービスの利用料を改定します。

現 在：1kmあたり120円

改定後：1kmあたり150円

迎車料(300円)は変更ありません。

※詳細については本会ホームページでご確認ください。

◆利用料改定の理由

前回改定(平成25年4月)から2年が経過し、その間に消費税率が8%に変更になり、ガソリン代も変動するなど、事業の経営が圧迫されていることから、利用料を改定することになりました。

～利用者と運転ボランティアさんの声～

汲沢にお住まいのSさん(80歳代・女性)は娘さんの付き添いで月に1回通院で利用されています。

「このサービスを利用できてとても助かります。特に雨の日は非常にありがたいです。」とお話されていました。



この事業は運転ボランティアさんのご協力により成り立っています。ここでは、一番長く活動していただいている運転ボランティアの持齋(じさい)さんからコメントをいただきました。

『今年で運転ボランティアを始めて9年目になります。色々な利用者さんとの出会いやお話が楽しくてこの活動を続けています。一緒に活動してくださる方をお待ちしております。』

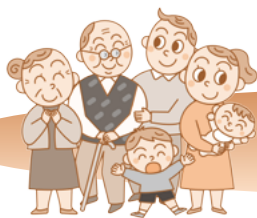


戸塚区社協では、この事業にご協力いただける運転ボランティアさんを募集しています。ご興味のある方は送迎サービス事業担当(☎045-866-8434)までお問い合わせください。

編集後記

少子高齢化の進行や、生活環境の変化などで、弱者と言われる方々の社会生活は厳しさを増しています。障がいを抱えた時も、災害が発生した時でもお近くの「共助」の出番です。かたまりあい、まなびあいの思いをつなぐ、素晴らしい事業が、地域の方々の協力で走り始めています。そんな活動を紹介しました。広がりを期待しています。

編集長 天沼松次郎



ボランティア情報

2015年2月発行

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会とつかボランティアセンター

やりたいことみつける!!

ボランティアのいろは

受講生募集中!

ボランティアに関心がある、地域で活動してみたい…。でもボランティアって何をしたらいいのかわからない。

そんなあなたのはじめの一步を応援します!一緒にボランティアの世界をのぞいてみませんか?



(日時) *両日共に同じ内容です。定員は各回20名

2月10日(火)10時～11時30分 会場:とつか区民活動センター

3月10日(火)10時～11時30分 会場:フレンズ戸塚

(申込方法) 前日までにとつかボランティアセンター(☎045-866-8434)にお電話にてお申し込みください。

善意銀行とは?

みなさまから寄せられた善意(寄付金・物品)を区社協で預かり、地域の福祉活動に配分する仕組みです。

●寄託者一覧(平成26年4月1日～11月30日)ありがとうございました

大洋建設(株)、ボランティア・フォーラム・とつか実行委員会、斉藤すみゑ、カラオケ教室、ヨコハマいきいきポイント、ダイセーロジスティックス(株)、横浜戸塚中央ライオンズクラブ、戸塚ルーテル教会附属幼稚園、神奈川土建一般労働組合横浜戸塚支部、ブリヂストン労働組合、戸塚フラダンス&ハワイアンチャリティフェスティバル実行委員会、旧戸塚区役所若葉会懇親会、GS920G会、戸塚区少年野球連盟、横浜東戸塚ライオンズクラブ、戸塚区三曲協会、(株)ミツバ横浜研究開発センター、石井敏子、(社福)であいの会、戸塚第一地区社会福祉協議会、日本ポリウレタン労働組合、六国建設(株)、端山恵治、横浜商工会議所戸塚支部、池和子 (敬称略・順不同)



横浜東戸塚ライオンズクラブさんと区社協有賀会長(中央)

戸塚区社協ふれあい助成金 説明会のお知らせ

戸塚区内で活動する市民活動団体・障がい当事者および家族団体が地域福祉推進・障がい福祉推進を目的として行う事業に対して助成します。

●日 時:平成27年 3月17日(火) ①10時～11時 ②14時～15時 (両方ともに同じ内容になります)

●会 場:フレンズ戸塚 ①②多目的研修室

●申込み:要事前申込み。電話またはFaxで希望時間帯・団体名・参加者名を区社協へ ※原則1団体1名

とつかボランティアセンターのご案内

●ボランティア相談窓口

(戸塚区福祉保健活動拠点フレンズ戸塚1階)

月曜～土曜日 9:00～21:00

日・祝日 9:00～17:00

TEL:045(866)8483

FAX:045(862)5890

E-mail:volunteer@totsukashakyo.com



「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。